

登録コード	E4661900	開講年度	2026				
授業科目	中等保健体育科教材論					担当教員	藤田 育郎
英文授業名	Teaching Contents and Materials in Secondary Physical Education					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	
講義室	教育泉会館1号室	教育第1体育館	授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				中学校体育授業における教材づくりの意義を理解することができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				中学校体育授業を想定した教材づくりの知識・技能を習得することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	体育の教材づくりの基礎的理論に関する講義をもとに、主に球技領域を対象にしながら、グループで教材づくり、単元計画づくりを行い、発表する。また、その内容についての討論を通して授業づくりの理解を深める。						
(5)授業計画	第 1 回：オリエンテーション 第 2 回：メインゲームの体験 ゴール型 第 3 回：メインゲームの体験 ネット型 第 4 回：メインゲームの体験 ベースボール型 第 5 回：球技の分類論とその運動特性 第 6 回：メインゲームの教材づくりの課題 第 7 回：練習教材（下位教材）の開発の必要性 第 8 回：教材の配列を工夫した単元計画 第 9 回：教材づくりについてのグループ発表 ゴール型 第10回：教材についてのグループ発表 ネット型 第11回：教材づくりについてのグループ発表 ベースボール型 第12回：単元計画についてのグループ発表 ゴール型 第13回：単元計画についてのグループ発表 ネット型 第14回：単元計画についてのグループ発表 ベースボール型						
(6)成績評価の方法	グループワークに基づいた教材構成・単元計画の作成とその発表、および各時間の討論への参加状況によって評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	)問題の設定が適切である。)その問題の背景を説明できている。)その問題にどのような課題があるのかを指摘できている。)それらの課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている。)その上で自分の見解を提示できている。以上)から)の5項目を満たしていれば「卓越している」。4項目を満たしていれば「かなり上にある」。3項目を満たしていれば「やや上にある」。2項目を満たしていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	事前にe-Alpsに掲示するレジュメについて、事前学習をおよび事後学習を行うこと						
(9)履修上の注意	・グループワークに支障が出るため、欠席および遅刻をしないこと。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	授業の前後に随時対応する。緊急の連絡はメールで受け付ける。 アドレス：ifujita@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	岩田靖（2016）ボール運動の教材を創る（大修館書店）						
【参考文献】	文部科学省（2017）中学校学習指導要領 文部科学省（2017）中学校学習指導要領解説・保健体育編						